

第1学年1組 生活科学習指導案

1 単元名 げんきな おはなを さかせよう

2 単元について

(1) 児童の実態について

本学級の児童は、入学してから3ヶ月の間、低学年遊び場に咲いている花を教室に飾ったり、昆虫を見つけてきて飼ったりするなど、動植物に対して非常に興味・関心が高い。また、毎日自分の鉢植えの花を見て、「先生、葉っぱが2枚になったよ」「背の高さが高くなったよ」など自分の花が成長していく様子を友達や教師に伝えようとしている。自分なりの思いや願いをもってクラス花壇づくりにも取り組んでおり、自分が育てている植物に繰り返し関わることができている。

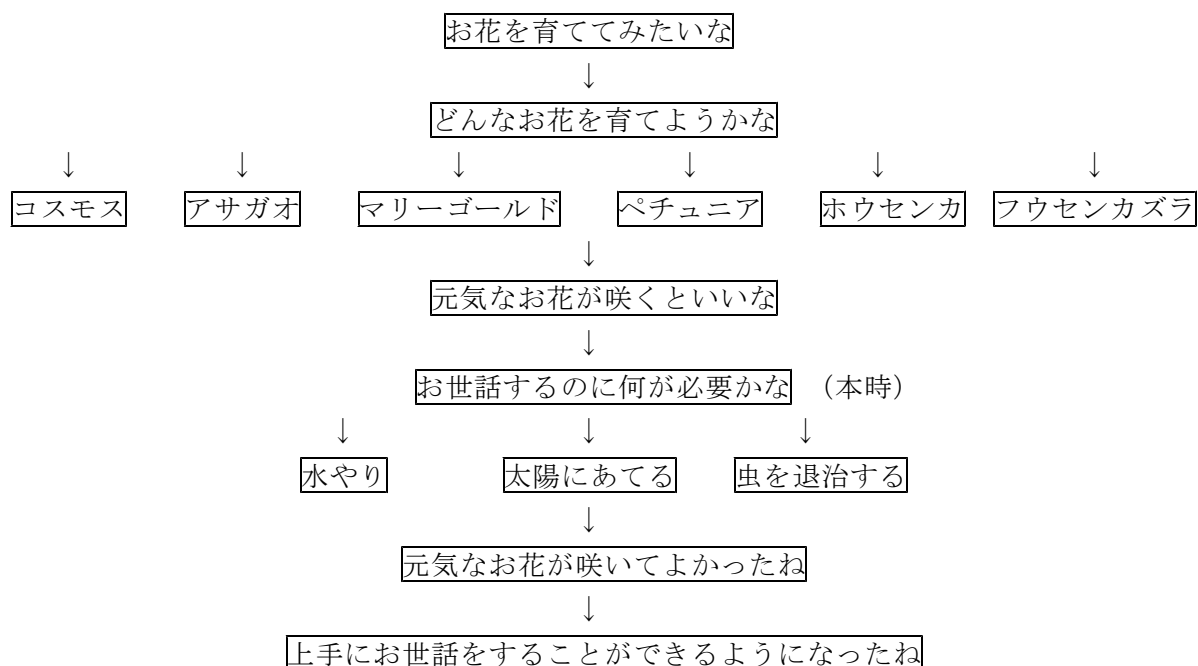
(2) 単元設定の趣旨と構成上の配慮

本単元は、小学校学習指導要領生活科解説編内容(7)を受けて設定したものである。ここでは、児童が自らの手で継続的に植物を育てることを通して、身近な植物に興味・関心をもち、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物を大切にすることができるようにするがねらいである。また、植物の栽培を通して、自分の植物に対しての関わり方の変容に気づき、これからの生活において意欲や自信をもって生活できるようにしていきたい。

単元を構成するに当たっては、花を栽培していく中で、児童それぞれの課題を更新しながら、友達と一緒に解決方法を考えていくことができるようにする。そのために、①自分が今まで栽培したことのない花を栽培し、同じ花を育てている友達同士で活動すること。②自分の花について友達と伝え合う活動を単元全体の中に意図的に組み込んでいくこと。この2点に配慮しながら進めていくようにする。同じ花を育てているグループで活動することによって、友達と自分の共通点や相違点に気づきやすくなると考える。友達との関わりを通して、友達のよさや自分との違いに気付いていくことができる。また、友達の成長の様子や世話の仕方を見ることで、そのよさを自分自身にも取り入れていくことができると考えている。

単元の終末には、これまでの世話を振り返りながら、上手に世話ができるようになった自分の成長に気づき、これからの生活に意欲や自信をもって生活することができるようにしていく。

(3) 児童の意識



平成26年6月14日(土)

授業者 若村 健一

授業会場 1年1・2組教室

低学年遊び場

3 教科の研究主題との関わり

本校生活科では、「生活することへの意欲や自信を高める生活科の学習指導」という研究主題の下、研究に取り組んでいる。本実践では主に、下記の手立てを講じて実践を行う。

<手立て1> 児童のこれまでの栽培活動を時系列で可視化した掲示物を作成し、自分の花との関わりに気付いていくことができるようにする。このとき、児童が花との関わりについて振り返られるようにしていくことで、水平思考（主に、発想力）できるようにしていく。

<手立て4> 自分の花について友達からの他者評価を受け取り、自己評価していくことができるように、友達と自分の花について伝え合うことができるようにする。このとき、他者評価から自分の成長に関わることの観点の共有を図ることで、垂直思考（主に、分析比較力）できるようにしていく。

4 単元の目標

植物を育てることに関心をもち、育てている植物の世話をしたり、観察をしたりして、その変化や成長の様子、上手に世話ができるようになった自分の成長に気づき、植物を大事に育てることができるようにする。

5 単元の指導計画・評価計画（20時間扱い）

(1) 単元の評価規準と小単元の評価規準

		生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
単元の評価規準		植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、親しんだり大切にしたりしようとしている。	植物を育てることについて自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりして、それをすなおに表現している。	植物は生命をもっていることや、成長していること、生き物と自分との関わりに気付いている。
学習活動（小単元）における評価規準	1	①植物を育てることに関心をもち、種をまき、世話をしようとしている。	①春から育てることができる花について、その世話の仕方などを調べている。	
	2	②自分で育てている植物に関心をもち、世話をしようとしている。	②植物が成長するのに必要なことについて考え支柱を立てたり雑草を抜いたりしている。 ③花の様子を観察し、絵や文で自分なりに表現している。	①植物も自分たちと同じように成長していることに気付いている。 ②植物の変化の様子から、花と自分との関わりに気付いている。
	3	③花の世話を通してこれからの生活に意欲や自信をもって生活しようとしている。	④育ててきた植物と自分との関わりを振り返り、自分なりの方法で表している。	③生き物への親しみが増えて、上手に世話ができるようになった自分に気付いている。

(2)単元の指導計画・評価の視点

小単元名・ねらい	主な活動(時数)	評価規準から想定した具体的な子どもの姿 評価方法	
<p>1 ぼくわたしの ○○をそだてよ う (5時間)</p> <p>○自分で育てたい花を選び、育てる花に親しみをもって接し、継続して世話をすることができるようにする。</p>	<p>①自分の育てたい植物を決める。(2)</p> <p>②植木鉢と花壇に種をまく。(3)</p>	<p>関-①</p> <p>思-①</p>	<p>○既習経験から、植物に関心をもち、育てたい植物を決めようとしている。 行</p> <p>○植物に関心をもち、種をまき、植物を大切に育てようとしている。 行</p> <p>○育てたい植物を決め、世話の仕方を考えることができる。 行・発</p> <p>○種まきや土作りで工夫したことや気付いたことを絵や言葉で表している。 作・ノ</p> <p>○発芽や成長への期待を言葉や絵、文にして表している。 発・ノ・つ</p>
<p>2 はなの せわ を しよう (10時間)</p> <p>本時7/10</p> <p>◎自分たちの花に必要なものを考えたり、それを準備したりして、花を育てることのよさに気づき、自分たちの花を大切に育てることができるようにする。</p>	<p>①植物の育ち具合に応じて、花の世話をする。</p> <p>②継続的に花の様子を観察する。</p> <p>③花の成長の様子で気付いたことを絵や文で表す。</p> <p>※①～③を行き戻りしながら活動を行う。</p>	<p>関-②</p> <p>思-②</p> <p>思-③</p> <p>気-①</p> <p>気-②</p>	<p>○自分が育てている植物に関心をもち、継続して世話をを行い、大切に育てている。 行・発</p> <p>○自分が育てている植物について観察して気付いたことを友達に伝えようとしている。 行・発</p> <p>○育てている植物と雑草とを区別して除草することができる。 行・発</p> <p>○花の様子を観察し、成長の様子を絵や文で表現している。 作・ノ</p> <p>○自分が育てている植物を絵や文を用いて相手に分かりやすく伝えている。 作・ノ</p> <p>○自分が育てている花が元気に育つにはどうしたらよいか考え、自分なりの方法で表している。 発・ノ・つ</p> <p>○植物も自分たちと同じように生命があり、成長していることに気付いている。 発・つ・ノ</p> <p>○植物が成長している様子から、花と自分との関わりに気付いている。 発・つ・ノ</p>
<p>3 はなの おせ わを ふりかえ ろう</p>	<p>①これまでのお世話を振り返り、話し合う。</p>	<p>関-③</p>	<p>○これまでの花の世話を振り返り、これからの生活に意欲や自信をもっている。 発・ノ・つ</p>

~~~~~ 以下略 ~~~~~

【行行動、発発言、作作品、ノノート、つつぶやき、自自己評価カードによる評価を示す。】

**6 本時の学習指導** (第2次 7/10時)

(1) 目 標

自分の花の様子を友達と伝え合う活動を通して、花が成長していることや、花と自分との関わりに気づき、これからの自分の世話の仕方について考えていくことができるようにする。

(2) 展 開

| 児童の活動・意識                                                                                                                                                                                                                                                                          | 評価（●）と支援（○）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 準 備                                                                                                  | 時間  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| <p>1 自分の育てている花に話しかけながら観察し、花の様子を文で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくのコスモスはぐんぐんと伸びてきています。</li> <li>・わたしのアサガオは葉っぱがいっぱいです。</li> <li>・わたしのマツバボタンも少しずつ大きくなってきているよ。</li> <li>・葉っぱの長さがとっても長くなったよ。</li> <li>・お水をあげたときどんな気持ちだったかな。</li> <li>・これからやってほしいことは何かな。</li> </ul> | <p>●花の様子を観察し、成長の様子を絵や文で表現している。 思-③作・<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>○前回までの活動を振り返りやすくするため、植物の成長の足跡を印した掲示物を活用する。 &lt;手立て2&gt;</p> <p>○花に話しかけて花と会話ができるようにするために、自分が育てている花をよく観察し、現在の花の状態をよく見ることができるようになる。</p> <p>○花の様子を友達と伝え合うことができるように、話しかけた内容や観察した内容を吹き出しカードにかくようにする。</p> <p>○うまく表現することができない児童には「たぶん○○と思っている」という型を提示し、吹き出しカードにかくことができるようにする。</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・植木鉢</li> <li>・吹き出しカード</li> <li>・ノート</li> <li>・掲示物</li> </ul> | 15' |
| <p>2 花に話しかけたことや観察したことを友達と伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしのコスモスは、たくさんお水をもらってうれしいうちだったよ。</li> <li>・ぼくのマリーゴールドは、たぶんぼくに応援されてるから元気に育ったんだよ。</li> <li>・みんなたくさんお世話しているんだな。</li> </ul>                                                                                | <p>●植物が成長している様子から、花と自分との関わりに気付いている。 気-②発・<input checked="" type="checkbox"/>・<input checked="" type="checkbox"/>・<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>○花の様子がより伝わりやすくするため、植木鉢に吹き出しカードを付けて、花の様子を伝えることができるようにする。</p> <p>○花の様子を発表する際にどのような世話をしているのか発表することで、友達のよさや自分との違いに気付くことができるようにする。</p> <p>○ペアを組んでお互いの花のよさについて話すことで、自分のよさを自覚できるようにする。 &lt;手立て4&gt;</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・植木鉢</li> <li>・吹き出しカード</li> </ul>                             | 20' |
| <p>3 これからの自分の花との関わり方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも毎日水をしっかりあげていこう。</li> <li>・友達と僕のお世話の仕方は同じだったな。これからもがんばってお世話しよう。</li> </ul>                                                                                                                          | <p>●自分が育てている植物に関心をもち、継続して世話をし、大切に育てている。 関-②行・<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>○これまでの自分の花への関わり方を振り返り、今後も継続して花に関わろうとしている児童を称賛し、意欲をもって花に関わることができるようにする。</p>                                                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・植木鉢</li> <li>・吹き出しカード</li> <li>・ノート</li> <li>・掲示物</li> </ul> | 10' |